

ごみ減量・3R活動優良事業所 取組内容情報提供シート

<取組内容>

(記入日 平成28年10月28日)

事業所名	株式会社デプス	認定番号	2801002
所在地	〒615-0065 京都市右京区西院日照町106番地		
取組内容	リデュース (発生抑制)	部材などが納品される際に、梱包資材のウレタンマットが大量に出るので、それをゴミにせず、まとめて納品元に送り、また使用してもらっています。 ゴミ抑制と環境のことを考慮し、割りばしの使用を抑えるために、以前から従業員は「マイ箸」を持参しています。	
	リユース (再使用)	コピー用紙の裏は、メモ帳として再利用しています。 製造過程で製品の下に敷く紙なども、汚れてきても、すぐに捨てず、汚れ物を拭くのに使用したり、メモ書きとして使用し、その後雑がみと燃えるゴミに分別しています。 雑がみ入れには、納品などで出た段ボールを使用しています。	
	リサイクル (再資源化)	雑がみ、プラゴミ、燃えるゴミで分別をしています。どうしても混ざってしまうものに関しては、定期的に声掛けをして、分別の強化を図っています。 缶ごみは、「アルミ」と「その他」で分別し、アルミ缶は古紙回収で、その他の缶ごみは自動販売機の缶ごみと一緒に回収してもらっています。	
	その他	各部署から一人ずつゴミ担当者を選任して、出されたゴミのチェックをし、分別しきれないものに関しては再分別をし、各部署に声掛けをして、ゴミの分別に対して理解を広めるように活動しています。	
取組紹介 web ページ	http://		
環境マネジメントの取組等			

取組写真 情報提供シート

取組①

(写真)



(説明)

各フロアにごみ分別表を貼って、分別用のごみ箱を設置しています。

雑がみ用には、不要になったダンボール箱を使用しています。

取組②

(写真)



(説明)

納品で発生するウレタンマットの梱包資材は、ごみにせずためておき、ある程度たまったら、納品もとに返送し、再利用してもらっています。

取組③

(写真)



(説明)

各部署から選任されたごみ担当者が、燃やすごみの日に、ごみの量と分別についてチェックをしています。

分別が不十分な場合は、再分別し声掛けなどを行っています。